

＜学校名＞ 新座市立第四中学校

＜所在地＞ 新座市大和田4-17-1

＜電話＞ 048-477-6053

＜本事例の特徴＞

「世界の中で活躍する日本人に学び、国際社会で生きる力を育む」をテーマに、第三学年の「総合的な学習の時間」に国連団体等と連携し、以下の事業を進めている。

＜具体的な取組や成果＞

【事前学習】

生徒一人一人の学習活動として、「現代の国際社会の課題は何か」を考えさせた。その後、各自が考える課題を交流するグループ学習を行った。グループの中で、課題解決のために、共通テーマと個人テーマを決めて調べ学習を行った。グループ学習の成果として調べてわかったことについて発表を行った。

【国連 UNHCR 協会による出前学習】

SOAR (Students Organization Assembled for Refugees ソア) のメンバーの方や、難民救済センターの所員の方々を招いて、難民支援の実際についての講演を聞いた。

【事後学習】

最前線で活躍する人々の話を聞いて、世界の難民について理解し、日本に一定数いる難民の実情について理解を深めた。生徒が思っていたことと実際に聞いた話を重ねて、難民問題に関する課題解決のために自分ができることを考えさせた。また、国際社会で自分が生きるために必要なことは何かを考えさせた。

【成果について】

授業を振り返り・感想を発表し合うなかで、多様な考えや意見を交流することができた。その中で、自分自身の生き方として、現代の国際社会の課題に対してどのように関わっていけばいいのか、また、持続可能な開発目標に対する、よりよい選択のためにはどうすればいいのかという問題に対して主体的に考えさせることができた。